

## 損傷低減型レール高低調整用可変パッドの開発

鈴木実 栞田吉弘 弟子丸将 浦川文寛 矢口直幸 佐藤大悟

可変パッドは、スラブ軌道のレール高低調整に用いる部材で、レール締結装置の一部材として使用されています。この可変パッドは、ラミネートフィルム製の袋の内部に反応硬化型の液状樹脂を注入することにより、1mm以下の精度でレール高さを調整することができます。開発以来、圧縮強度や耐衝撃性などの改善が図られた結果、現在では耐久性の高い製品が使用されていますが、温度変化によってレールが伸縮したときのせん断力などによって損傷する事例もあります。この対策として、液晶ポリエステル補強織

維や環状オレフィン樹脂を適用した損傷低減型可変パッドを開発しました。開発品は温度特性が向上し、低温時の柔軟性や高温時の機械的強度に優れることから、過酷な環境下における特性改善が期待できます。

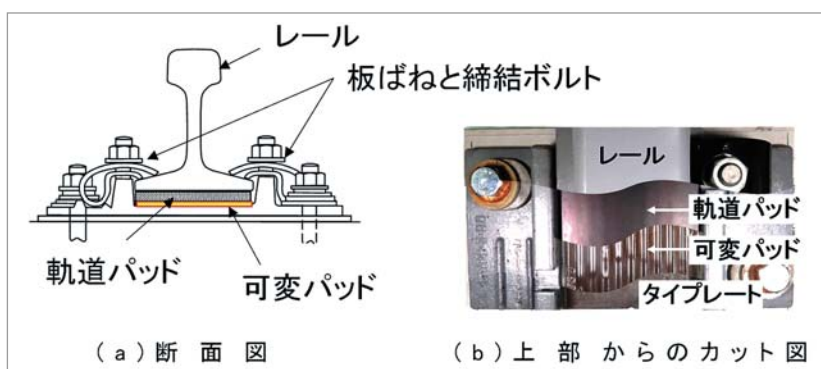


図 直結8形締結装置